

第3回 宇野港宇野地区中長期ビジョン検討会

事務局説明資料

令和8年1月27日

中国地方整備局 港湾空港部

宇野港宇野地区中長期ビジョン検討会 設置趣旨

令和4年度より、各地方運輸局等において、将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる、地域・日本のレガシー（遺産）となる新たな観光資源を形成するため、実現可能性調査・プラン作成が実施されているところ。

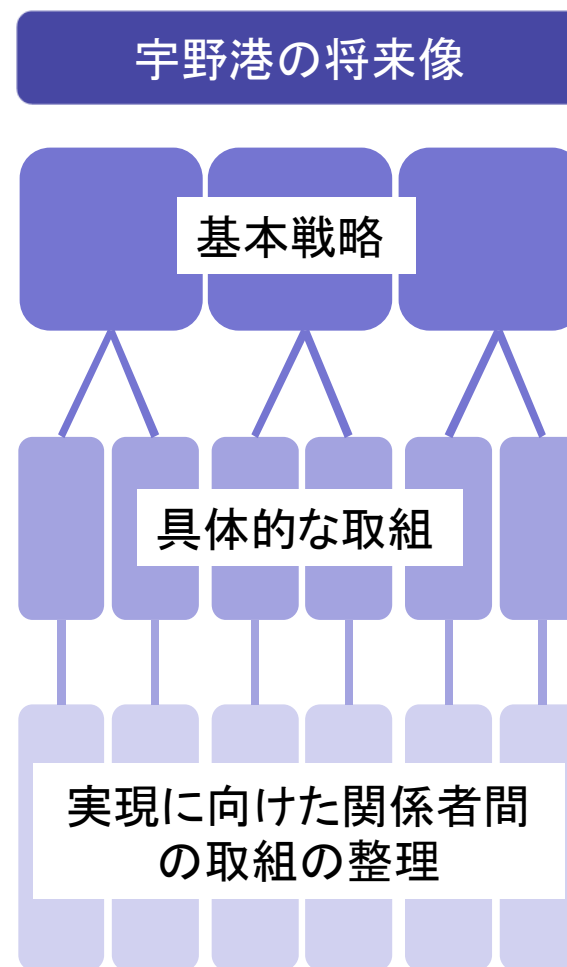
この中で、岡山県玉野市においては、「瀬戸内産業芸術祭『S・A・I』～Setouchi Art & Industry～」(以下、SAI)の構想を立ち上げ、瀬戸内エリアにおける産業、文化、芸術の振興のため、オープンファクトリーをはじめとする各種取組が進められているところである。また、SAIのゲートウェイとなる宇野港については、景観と機能性を調和させた新生宇野港のコンセプト案について議論がなされたところである。

宇野港宇野地区については、平成18年に水深10mの大型旅客船ふ頭が供用され、クルーズ船が寄港しているほか、平成20年には当該客船バースを含む宇野地区の各種施設が「みなとオアシス宇野」として登録され、クルーズ船寄港時の入港イベント等が行われているところである。また、瀬戸内海の直島・豊島・小豆島と宇野港を結ぶ内航フェリー・旅客船が就航しており、瀬戸内海の交通結節点としての機能も有している。

他方で、平成3年に港湾計画が改訂されて以降、新たな企業立地が進んでおり、宇野港をとりまく環境が変化してきているほか、前述の新生宇野港コンセプトの中で中・長期的な開発の方向性も打ち出されており、宇野港宇野地区の在り方を関係者間で議論し、まとめていく必要がある。

そこで、宇野港宇野地区の港湾機能の向上・にぎわい空間の創出に向けた方策等を検討し、「宇野港宇野地区中長期ビジョン」としてとりまとめるため、有識者、関係団体・企業及び行政機関からなる検討会を設置する。

【宇野港宇野地区中長期ビジョン】



第3回検討会の内容

第1回検討会
(令和7年3月19日)

《第1回検討会の内容》
○宇野港宇野地区の港湾機能の向上・にぎわい空間の創出に向けた方策等を検討し、「宇野港宇野地区中長期ビジョン」としてとりまとめることを目的に検討会を実施。
⇒ 検討会各メンバーから現状の課題や意見、認識を共有。

第2回検討会
(令和7年11月5日)

《第2回検討会の内容》
○前回検討会での意見と過去の事業の振り返りを整理し、事務局が整理した中長期ビジョンの取組を説明し、解決策・方向性について議論（意見交換）。
⇒ 検討会各メンバーによる現状・課題、解決策（案）・方向性を議論。

第3回検討会
(令和8年1月27日)

本日の検討会

《第3回検討会の内容》
○前回検討会での意見交換を踏まえ、中長期ビジョンにおける将来像、基本戦略、具体的な取組、ロードマップ（案）を説明し、議論（意見交換）。

第4回検討会
(令和8年●月●日)

《第4回検討会の内容》
○「宇野港宇野地区中長期ビジョン」のとりまとめ（案）を説明し、議論（意見交換）。

第5回検討会
(令和●年●月●日)

《第5回検討会の内容》
○「宇野港宇野地区中長期ビジョン」のとりまとめ。

第2回検討会での主なご意見

宇野港宇野地区の目指すべき方向性

- ◆ 宇野港について、**目的地となるような、行ってみたいと思えるような港にするべき。**
- ◆ 「どのような港を目指していくのか」という点を念頭に置いて議論できれば良いと考える。来訪者から得られる収入を港に還元しつつ、人口流出を逆転させていく必要がある。
- ◆ 玉野は、観光だけではなく、目の前の海がなければ成り立たない、**地域に根付いた製造業があることが特色であり、中長期ビジョンには製造業の内容も反映してほしい。**（港のゾーニングが必要）
- ◆ **全国からピンとくる港にすべき。公共交通網の拡充が合わされば訪日外国人・住民双方にとって便利になる。**目に見えて便利になったものがあれば、住民も宇野港に興味を持つと思う。
- ◆ 外国人の文化との違いにより外国人とのトラブルがあるため、勉強できる場があると良い。
- ◆ 宇野港で具体的な取組をされる方々が描く将来像と、中長期ビジョンが合致していることが大切。また、**地元の方と訪日外国人が共存できる形が望ましい。**
- ◆ 中長期ビジョンの検討においては、目指すべき将来像とその達成に向けた手段を切り分けて議論すべき。
- ◆ 宇野港の目指すべき方向性について、**ターゲットやコンセプト等の観点から掘り下げていくことが必要。**また、取組を維持する上でどのように投資を呼び込んでいくか議論することも必要。
- ◆ 旅行者にとって魅力的に映る景色と、地域の産業が組み合わさることで、定住が増えていくのでは。
- ◆ **宇野港は玉野市のまちづくりと連携した機能が必要。**

第2回検討会での座長のとりまとめ

- ◆ **意見交換を踏まえ、事務局にてキーとなるコンセプト、それにぶら下がる取組の柱を整理すること。**

第2回検討会後の委員への個別意見伺い 11月13日～11月27日

事務局による将来像（案）

- 案1 ゲートウェイ 目的地として惹かれる港 ～●●●万人が訪れる宇野港へ～
- 案2 瀬戸内ゲートウェイ ～目的地として惹かれる宇野港へ～
- 案3 瀬戸内ゲートウェイ ～見慣れた港に、地元も旅人も、ともに楽しむ宇野港～
- 案4 瀬戸内ゲートウェイ ～通過点ではなく目的地となる宇野港～

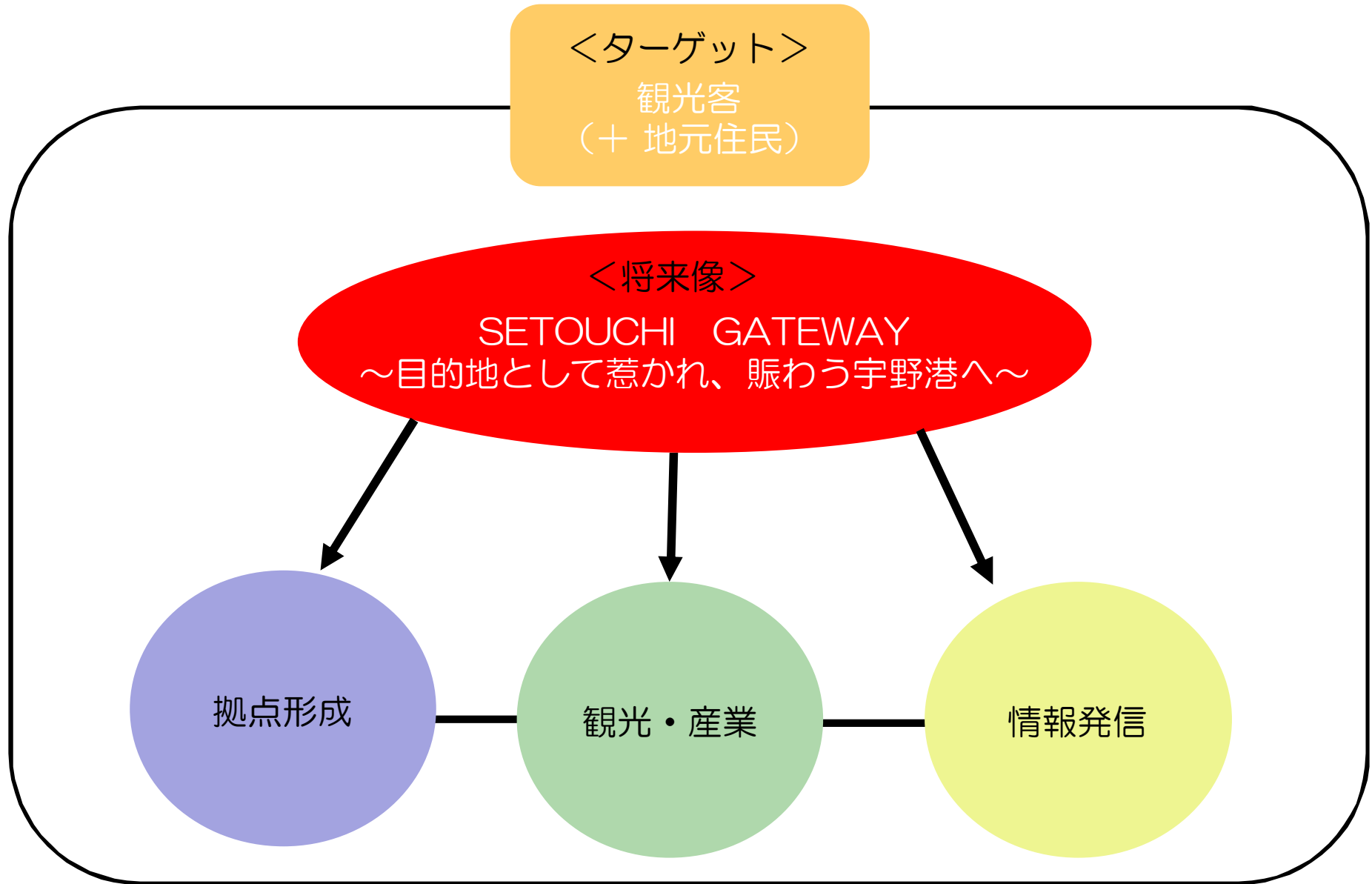
将来像（案）についての意見

- ◆ 具体的な人数は目標達成が困難である場合を踏まえ、将来像としないほうがよい。
- ◆ 案3の「見慣れた港」を削除した「瀬戸内ゲートウェイ～地元も旅人も、ともに楽しむ宇野港～」がよい。
- ◆ 方向性は宇野港が「目的地」となるものがよい。
- ◆ 瀬戸内産業芸術祭をコンセプトとして建築関係の方が宇野港を目的とするような港がよい。
- ◆ 瀬戸内ゲートウェイは良いが、英語表記の方が世界にもアピールできる。
- ◆ 宇野港の目指すべき方向性は、地元が示すべきものであると考える。
- ◆ 瀬戸内より瀬戸内海ゲートウェイという表現が良い。よほどの的外れな物でなければよい。
- ◆ 「瀬戸内海ゲートウェイ～住み慣れた港に、旅人とともに楽しむ宇野港～」はどうか。
- ◆ 「瀬戸内ゲートウェイ」という言葉は響きがよい。方向性としては案3、キャッチフレーズとしては案2がよい。
- ◆ 対外的に「アート」が象徴的なワードだと思う。一方で連絡船の街として栄えた港でもあり、地域の暮らしと密着していることから「暮らし」も必要な観点。例えば、「アートと暮らしの港町」。
- ◆ どの案も良いと思うが、案2はよい方向性だと思う。
- ◆ 案4の通過点「ではなく」と表現する必要は無い。「通過点でもあって」という表現の方が無理がない。
- ◆ 案1は目標人数を達成できればそれでよいのかという話になるのではないか。
- ◆ 宇野港自体地元の方が行きたくなるような魅力のある港作りが必要であり、宇野港が目的地になるものがよい。
- ◆ 案2と案4のようにふわっとした表現を将来像とし、案1と案3は目標として整理する方がよい。
- ◆ 「滞在」「拠点」「目的地」という検討会の意見を踏まえ、「人が集う」や「賑わいが生まれる」というようなニュアンスがあると良い。

中長期ビジョン（案）（基本戦略、具体的な取組）についての意見

- ◆ 現状の拠点形成に係る基本戦略では宿泊地に限定する内容であり、戦略が狭くなっていることから、**港湾機能の向上を盛り込んだ広い戦略を立てたほうがよい。**
- ◆ 観光客向けの戦略が多い印象。**玉野市に住む若者がこの町で就職したいと思えるような取組ができればよい。**具体的な取組案として、船の荷役状況等の見学ができるような機会が設けられれば面白い。
- ◆ 中長期ビジョン検討会で出た意見を吸い上げて全てを反映するとなると中途半端な取組となる可能性があり、実現が困難だと思う。
- ◆ **中長期ビジョンは実現可能なものが良い。**また、中長期ビジョンをとりまとめて終わりとならないように段階を踏んだ計画にするべき。**まずは宇野港にシンボルが必要。**
- ◆ 歴史や過去の宇野港を踏まえて、実際に宇野港や地域の店を見て感じたことをビジョンに取り入れてほしい。宇野港のシンボルとして、「宇高連絡船」や「ののちゃん」を挙げる。
- ◆ 内容は特に問題ない。今後観光地として賑わいを創出することに軸足が動いていくと思っている。**クルーズ船を多く呼ぶのが良い。**賑わいを創出するのではあれば若年層をターゲットにすべきではないか。
- ◆ 具体的な取組に書かれているものをさらに何点か小分けにしたほうがイメージしやすくなり、何をすればよいのか目的が明確になると思う。
- ◆ 多くの取組を進めると中途半端な結果になる可能性があるため、目指すべき方向性や具体的な取組を主体となる方（玉野市長）が推し進めることにより地元住民も共感して動くこともできると思う。
- ◆ 産業振興ビルは海に関係した施設として活用してほしい。宇高連絡船を展示するなど海上交通の重要性を伝えることも港の使命であると思っている。
- ◆ 検討会では方向性となる**ビジョン、目標及び達成時に発生するバリュー**について議論したほうがよい。
- ◆ 「交通」について考える際は**フェリーも合わせて考えてほしい。**現状フェリー乗り場はデジタルになっていない。港の町づくりは将来どのように絵姿を作るのかを市が示さない限り、民間企業も今の需要に合わせて何かを行うことしかできないと思うため、**玉野市が主体とならないと何も進まないのでは**と思っている。

- 序 章 これまでの経緯
- 第1章 第2回検討会での主なご意見
- 第2章 第2回検討会後の委員への個別意見伺い
- 第3章 宇野港宇野地区中長期ビジョン（案）
 の作成に向けた検討



中長期ビジョンにおける将来像、基本戦略、具体的な取組(案)

将来像

SETOUCHI
GATEWAY

～目的地として惹かれ、
賑わう宇野港へ～

基本戦略

《拠点形成》

海上・陸上交通結節点を生かした
滞在型観光拠点、地元住民も集う
空間の形成

戦略

宿泊先として選択されるための
拠点形成、機能強化、持続
可能な開発

《観光・産業》

観光地間連携の観光ルートの形
成・サービスの充実

戦略

玉野市拠点の観光プラン
(自然、歴史、芸術)の強化、
産業の調和

《情報発信》

戦略的プロモーションの実施

戦略

プロモーション活動、
情報発信の強化

具体的な取組

やすらぎの空間形成 (Walkable City)

宿泊施設の拡充 (ホテル誘致や空き家
を活用した民泊等)

海上・陸上交通の充実

キラークンテンツの創出・磨き上げ
(瀬戸内産業芸術祭、瀬戸内国際芸術祭等)

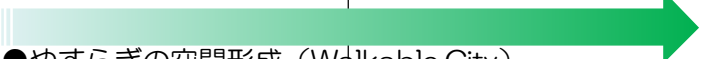


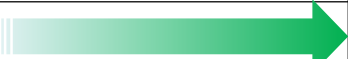
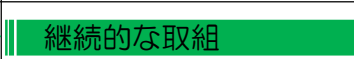






海上交通を使った観光プランの充実
(定期船、海上タクシー等)

陸上交通を使った観光プランの充実
(JR、路線バス、観光バス等)

あらゆる手法を活用した
プロモーション活動、情報発信の強化

中長期ビジョンにおけるロードマップ(案)

【たたき台】

基本戦略	具体的な取組		
	1年目	2年目	3年目以降
<p>＜拠点形成＞</p> <p>海上・陸上交通結節点を生かした滞在型観光拠点、地元住民も集う空間の形成</p> <p>・宿泊先として選択されるための拠点形成、機能強化、持続可能な開発</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ●やすらぎの空間形成（Walkable City） ex) 観光客が玉野市で滞在する施策の検討（主体：〇〇・〇〇） ・〇〇 	 <p>継続的な取組</p>	 <p>継続的な取組</p>
<p>＜観光・産業＞</p> <p>観光地間連携の観光ルートの形成・サービスの充実</p> <p>・玉野市拠点の観光プラン（自然、歴史、芸術）の強化、産業の調和</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ●キラコンテンツの創出・磨き上げ（瀬戸内産業芸術祭、瀬戸内国際芸術祭等） ex) 目的地となるニッチな観光コンテンツを深掘りする等の検討（主体：〇〇） ・〇〇 	 <p>継続的な取組</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●海上交通を使った観光プランの充実（定期船、海上タクシー等） ex) 島しょ部の観光地への連携に向けた観光プランの造成（主体：〇〇・〇〇） ・〇〇  <ul style="list-style-type: none"> ●陸上交通を使った観光プランの充実（JR、路線バス、観光バス等） ex) 陸上交通を利用した観光地巡り等の観光プランの造成（主体：〇〇・〇〇） ・〇〇 	 <p>継続的な取組</p>
<p>＜情報発信＞</p> <p>戦略的プロモーションの実施</p> <p>・プロモーション活動、情報発信の強化</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる手法を活用したプロモーション活動、情報発信の強化 ex) 地域一体となった効果的な情報発信方法の分析や検討（主体：〇〇） ・〇〇 	 <p>継続的な取組</p>	 <p>継続的な取組</p>